

第 4 回 One Book One OSAKA 事業実行委員会報告

平成 27 年 5 月 19 日 15 : 00—
大阪市立中央図書館 中会議室

(1) 開会 事務局長挨拶

- ・ 実行委員会メンバー確認 (別紙名簿参照)
- ・ 配布資料の確認

(2) 第 5 回投票実施について

- ・ 協賛について (チラシ、ポスター、投票箱作成用)

第 4 回投票時の協賛相手方及びコラボ事業相手方に依頼。

株式会社サクラクレパス (ポスター)、大阪商工信用金庫、セレッソ大阪
文紙 MESSE 協議会※より、協賛金をいただけることになった。

(※文紙 MESSE 協議会：一般社団法人大阪文具工業連盟、・大阪紙製品工業会・中部文具工業協同組合による文具・紙製品の見本市を主催している団体。事務局は中央区。8 月 6 日、7 日にマイドームおおさかで文紙 MESSE を開催。業界団体の商談が行われる他、広く一般市民に公開され、消防局や図書館とのコラボコーナーも設置される。図書館コーナーには文具の図書や絵本、OneBook 絵本などを並べ、図書館の PR を行う予定。)

平成 26 年度に文紙 MESSE で図書館のコーナーを持たないかと文紙 MESSE 協議会から働きかけがあり、コーナーを設置、PR 等を行った。また図書館でもチラシを置いたり展示コーナーを設置したりするなど文紙 MESSE の PR を行った経過がある。文紙 MESSE 開催時には OneBook 投票コーナーを設置予定。セレッソ大阪ホームゲームでの投票も検討する。

協賛の表現については別紙投票用紙見本参照。協賛会社からの要望により、会社のロゴマークを使用する。

⇒全会一致で承認

- ・ 投票実施期間、方法など

前回：7 月～12 月に実施。

各図書館、子育て支援施設に投票箱設置。

市立小学校 (全生徒に投票用紙を配布)、幼児期読書環境整備事業配本施設にも投票用紙、ポスターを送付。

今回は市立図書館 HP よりインターネット投票を受け付けたい。

今年は協賛金が多めに集まったので、小学校にも投票箱を設置したい。

⇒全会一致で承認

協賛金の使い道について

大阪商工信用金庫 15 万＋セレッソ 10 万＋文紙 MESSE20 万＝計 45 万円

内訳としては、投票箱に約 10 万、投票用紙印刷で約 35 万での使用でどうか。

⇒全会一致で承認

(3) 投票用紙について

①1～4 回投票までの上位絵本のリストつき

②自由記入

③テーマ設定(大阪、動物など)

④その他

⇒①のリスト形式での投票用紙で実施することを決定。

どの絵本を最終的にリストに入れるのかは、投票用紙配布開始の日程がせまっていることもあり、事務局に一任する。

ボランティアがおすすめの本も反映したいので、各グループに持ち帰られるところは持ち帰って相談していただき、また実行委員自身の考えなど、ご意見があれば事務局まで連絡してほしい。締切は 5/25（月）まで。

【投票用紙についての意見】

・ OneBook が人気投票でよいのか。OneBook で選ばれた本という表記が、絵本の見返しに入れてもらえるぐらいの存在になってほしい。もっと工夫がいるのでは。

・ リストを掲載することで、リストに掲載されている本の投票が増えてしまうのでは。絵本の画像も不要では。リスト番号も、リストから選ばなくてはいけないという誘導になってしまうので、不要ではないか。もっと自由に投票する絵本を選んでほしい。

・ 一冊の絵本を選ぶ過程が大切ということで OneBook は始まっているはず。選んだきっかけや理由をしっかりと書いてほしいと思っている。

・ いつも物語（読み物）に票が入ってしまうが、あくまで絵本への投票ということでこだわりたい。

・ ボランティアが選んだ一冊、というのがリストにあっても良いのでは。

前回図書館司書がおすすめの本もリストに入れたはず。ボランティアが選んだ本もリストに入れたらよいと思う。

・ 昔読んだ思い出深い絵本が絶版になっているものもある。出版年代で区切って投票するという方法もあるのではないか。

・ 多くのチラシが並ぶパンフレット架から、まずは手にとってもらうために、投票用紙は目立たなければいけない。そのためには投票用紙にカラーの絵本の表紙画像は必要。今回は表紙画像の載っているリストが欲しくてチラシを持って帰るという方も多かったと聞いている。また、リストの表紙画像を参考に、投票の絵を描く子もいる。

・ せっかく企業が協賛してくれているのだから、文具やサッカーの絵本をリストに入れてみては。

・ あまりに協賛企業よりのリスト内容になってしまうのもどうか。

- ・今回の投票は1年あいているので原案でよいと思う。
- ・絵本と読み物（物語）の区別が難しいものもあるが、特に分けず、いずれも可とする。
- ・手にとってもらいやすいレイアウトになれば良いので、やはりリスト番号はいらない。
- ・リスト番号は五十音順に①～番号をふっている。第1～3回の自由記入の時代は、票が割れ過ぎて集計が大変だったため、第4回実施の際に、議論の末リスト番号制が導入された経過がある。第4回は自由記入部門とリスト番号部門でそれぞれ集計を行っている。
- ・投票用紙の年代別の欄に、ボランティアが選んだ本、というのがわかる項目を増やしてはどうか。⇒（事務局より）欄を工夫する。
- ・ボランティアも忘れず投票してほしい。定例会でメンバーが集まっている時などに配布して、投票する取り組みもしている。
- ・リストに入れる絵本の数は増やせるのか⇒（事務局より）増やせないこともないが、これ以上増やすと、表紙画像が小さく、判別しにくくなってしまう。第1回から4回までで選出された殿堂いりの絵本も、自由記入欄で良く選ばれているので、リストのうちと考えられるので、はずしがたい。
- ・第1回の絵本が何年に選ばれたのか入れてほしい。また、今回の投票用紙のところに、何年に実施したのかわかるように表示してほしい。⇒（事務局より）年を記入する。
- ・投票用紙は何枚ほど用意できるのか。⇒（事務局より）まだ紙の値段や印刷の単価がわからないので枚数は不明だが、可能な限りたくさん用意したい。
- ・たとえば、この1年でよく借りられている絵本の一覧などを抽出しリストに加えるのはどうか。⇒（事務局より）システム的には可能だが、絵本のための抽出ができないため、全リストから探すことになる。
- ・出版社は売れる本を作りたがるが、今売れている（よく貸出にでている）本と OneBook のリストに載せたい資料は違っていると思う。

(4) 集計作業について

- ・投票用紙が集まり始めたら、各区の実行委員、実行委員がいない区は絵本の会などのご協力もお願いしながら各館で集計作業を行う。

集計用フォームは中央図書館館外サービスより時期を見て各館に送付。

⇒全会一致で承認。

(5) 投票期間中の投票促進イベントについて

- ・区、学校独自の One Book 投票・発表
- ・各地域で開催される絵本展、読み聞かせイベント等での投票啓発、投票実施
- ・協賛相手方イベントでの投票

文紙 MESSE 8/6, 7 投票用の文具の提供もあり

セレッソホームゲームでの投票コーナー

- ・ その他

（事務局より）協賛先のイベントがあれば、お知らせするので、ボランティアもぜひ参加してもらいたい。

Facebook やツイッターなどの SNS を日頃使っている実行委員もいると思うが、これらのツールも OneBook の取り組みを広める 1 つの方法になると考えているので、活用していただきたい。

【促進イベントについての意見】

- ・ 絵本を手にとって読んでもらうために、図書館で 1 冊ずつ置いて、スタンプラリーにしてはどうか。
- ・ イベントで OneBook の絵本を並べて子どもに選んでもらい、対面で一人ずつボランティアが読み聞かせをして投票してもらった。図書館では OneBook の絵本セットがあるのか。⇒（事務局より）図書館では絵本展示に使用できる OneBook セット（150 冊× 2 セット程度）を用意している。必要であれば、各地域図書館を通じて申し込みしてほしい。
- ・ 書店には置かないのか？⇒（事務局より）投票用紙などを置いてもらえるようなつながりがあれば、ありがたい。
- ・ 「おはなしたのしいでえ！ in 大阪」フェスティバルでも投票を呼びかけられないか相談する。

(6) 次回実行委員会について

- ・ 投票終了後、各館で集計を行い、市立中央図書館でとりまとめた結果をもとに One Book を決定するために実行委員会を開催する。28 年 3 月上旬までに開催したい。